

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|----|------|------|----------------|--|---------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 服装造形論Ⅰ | ・作品製作を通し服飾造形基礎知と服作りの技術と理論の習得 | 1・通年 | 120 | 4 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 服装造形デザインⅠ | 1. 服装造形概説・縫製の基礎 2. 体型研究 3. 一重スカート 4. シャツブラウス 5. ジャケット 6. ワンピースドレス 7. 総裏スカート 8. パンツ 9. 校外授業・補講 *細目ごと一般知識・デザイン・作図・縫製・発表会を行う | 1・通年 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形パターンメイキングⅠ | | 1・通年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形ソーイングⅠ | | 1・通年 | 300 | 10 | | | ○ | ○ | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形得ドレーピング基礎 | ・立体裁断基礎知識の習 1. ボディ準備 2. タイトスカート | 1・後期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | | ○ |
| ○ | | | 自由研究 | ・服装造形に関わるテーマに基づき各自の目標に合わせ研究する ・個々の能力に合わせ知識・技術の向上を目指す | 1・通年 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 服飾デザイン論Ⅰ | 服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。 | 1・通年 | 60 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | ファッションデザイン画Ⅰ | ファッションデザイン画は、人体プロポーションをはじめ、ポーズと衣服の関連、デザイン構造を明確に描く事が出来るよう指導に努める。 基礎技法かを中心に学生個人の感性を尊重しファッションデザイン画を表現する事を目標とする。 | 1・通年 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当 年次・学期 | 授 業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|--------|------------------|------------------|----------|---|-------------|------------------|-------------|--------|--------|------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験・ 実 習・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | 服飾手芸 | 服飾手芸全般における基礎知識及び技術を基にして応用発展できるように、素材・テクニック・色の組み合わせによってクリエイティブな力を養うことを目標とする。 | 1・ 通年 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 西洋服装史 | ファッション史の通史的、概論的講義。古代から現代に至る西洋を中心とした歴史の流れと服装の推移発展を理解させる。特にヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後ファッション業界でその知識を活かせるようにする。 | 1・ 通年 | 60 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | アパレル素材論Ⅰ | アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力を養わせることを教育目標とする。 布地を理解し使用するには、その構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの各々の種類、性質などを複合的に捉える必要があるため、繊維から系統的に授業を展開する。講義に演習課題を加えることで理解を促し、実践的なものにする。レベルは、関連授業及び卒業後に生かすための礎を得られる設定である。 | 1・ 通年 | 60 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | クロッキー | 様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながる描写と楽しさを再認識する事と合わせ、個性を伸ばす為の観察力・デザインイメージを見る側に伝える基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。 | 1・ 後期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | 英会話 | 基本的な文法知識を持っている学生対象の会話のコース。日常生活の中、またファッションに関係する事例からトピックを選び、それに関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、聞き取り、英作文などを組み込んだ構成とする。 | 1・ 後期 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 就職対策講座Ⅰ | ・ 社会人と学生の違いを認識し、将来の方向性を決めるきっかけを作る ・ 職業人に求められる「人間力」の向上を促し、実践教育を通して「就職力」の強化につなげる | 1・ 後期 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|--------|------------------|------------------|------------|---|---------|-------------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | 校外研修 I | ・校外での活動を通じ、見聞を広げ表現力の向上を目指す。 | 1・前期 | 30 | 1 | | | ○ | | ○ | ○ | | |
| ○ | | | 特別講義 I | ・ファッション業界の各分野の幅広い知識と技術を習得し、各自の進路を考える動機付けを目標とする ・レギュラー授業において包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する | 1・通年 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | コラボレーション a | ・各企業とのかかわりを持つことにより、企業での実務を知り就職への動機付けを目的とする ・課外活動への積極的参加を推進することにより各自の専門性を強化する | 1・通年 | 30 | 1 | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ |
| 学年合計 | | | | | 15科目 | 1,110単位時間 (37 単位) | | | | | | | | | |

(4/8)

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|--------|------------------|------------------|----------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| ○ | | | 服装造形論 II | 1年で学んだ 基本を 復習しながら、裏無しの作品から厚物・薄物作品までパターンから縫製まで学習する。立体裁断もボトムからトップスまで、テクニックからパターンメイキングまで学習する。 1. 工業用パターンメイキング I 工業用ボディでのドレーピング | 2・通年 | 90 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|---|----------|-----|---|--|--|---|---|--|--|--|--|--|--|--|---|
| ○ | | | 服装造形 デザインⅡ | (タイトスカート) 2. パターン展開のスカート 各自のデザインを スローパー展開でパター ンメーカーキング半身トワル型出し、実物制作 3. 立体裁断Ⅰ スカート ヌードボディでのドレーピング | 2・通 年 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形 パターン メーカーキ ングⅡ | 4. 一重ジャケット (ボトム) デザイン・パターン・実物製作・ポート フォリオ 5. デザインパンツ デザイン・パターン・実物製作・レポート | 2・通 年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形 ソーイ ングⅡ | 6. 子供服 (バザー作品) デザイン・パターン・実物製作・ノート提出 7. ウィンターコート デザイン・パターン・実物製作・レポート 8. 立体裁断Ⅱ 原型～胸ぐせバリエーシ ョン ヌードボディでのドレーピングからパターン へ | 2・通 年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形 ドレー ピン グⅠ | 9. 立体裁断Ⅱ ブラウス・衿 ドレーピング実習 (文化ヌードボディ) | 2・通 年 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |
| ○ | | | 服装造形 工業パ ター ンメー キン グⅠ | 10. 卒業制作 デザイン・パターン・実 物製作・レポート・ポートフォリオ 11. グレーディング 説明・実習 12. 工業用パターンメーカーキ ングⅡ 工業用ボディでのドレーピング (ジャケッ ト) | 2・後 期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ |

(5/8)

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配 当 年 次 ・ 学 期 | 授 業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | 場所 | | 教員 | | 企 業 等 と の 連 携 | |
|----|--------|------------------|------------------|-------------|--|---------------------------------|------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------------------|--|
| | | | | | | | | | 講 義 | 演 習 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | | |
| ○ | | | | 量産技術実 習Ⅰ | シャツの製造実習 (一人が全行程を賄う“丸 縫い作業”)を通して、シャツ生産指示書 (仕様書、指図書、工程分析表、作業標準 書)の役割 (生産時間の短縮や品質の均一化 や作業者の安全 等)について理解を深める ことを目標とする。また、工業生産機器の取 扱いと安全な基本操作についても学習し、限 られた授業時間 (納期: D) の中で、出来栄 え (品質: Q) にバラツキが生じないよう、 量産的な考え方の重要性も認識させる。 | 2・前 期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------|--|------|----|---|---|--|--|---|---|---|---|--|
| ○ | | 生産管理概論 | アパレル産業界における分業について、作品と製品の違いといったアパレル生産に関する基本的な知識の習得を目的とする。縫製工場とアパレルメーカーの双方から生産活動を学ぶことにより製品が仕上がるまでのプロセスを学習する。また、生産指示書類（縫製仕様書や工程分析表等）の作成を通じてQ（品質）C（原価）D（納期）の実現についての理解を深める。 | 2・前期 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | 服飾デザイン論Ⅱ | 1年次「服飾デザイン論Ⅰ」で習得した色彩・形態の基礎をベースに、ファッションデザインにおけるカラーコーディネート・アプリケーションの応用、イメージ分析、デザイン展開、ヴィジュアル表現についてより実践的に学習する。 | 2・前期 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | ファッションデザイン画Ⅱ | ファッションデザイン画は、衣服デザインや構造線を的確に描くことが出来るように表現力を伸ばす。各種画材を使用し、特徴のある素材表現の手法を習得する。学生個人の感性を尊重しオリジナルファッションデザイン画表現を目標とする。 | 2・通年 | 60 | 2 | | | | ○ | ○ | | ○ | |
| ○ | | アパレル品質論 | テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を理解し遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。講義と演習により理解を深める。 ①アパレルと品質管理 ②品質評価試験（実用性試験）と評価 ③アパレルの品質表示と法規制 ④アパレル製品の取り扱い ⑤アパレル製品の保証と製品事故 | 2・後期 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | ○ | |

(6/8)

授業科目等の概要

（服飾専門課程 服装科）2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|----|------|------|--------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 服装解剖学 | 解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体（骨格）に関する基礎知識を学習させる。人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。 | 2・前期 | 30 | 1 | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | ファッションビジネス概論 | 現代ファッション産業における必要とされる基礎的ビジネス概要を、アパレル社会側見た現状、又は問題点などを講義。今後、現代アパレル社会が求める人材、必要とされる基礎知識・基礎能力を高める。 | 2・後期 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------------------|---|--------------|----|---|--|--|--|---|---|--|--|---|
| ○ | | グラフィック クワーク基礎 | ファッションデザインの表現ツールとして、 パーソナルコンピュータ及び、グラフィック ソフトを使う能力を身につけると同時に、各 自のデザイン能力の向上を目指す。 ・CGを使用したデザイン画の基本制作とCG活 用術 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基本操作と ・ペイント系ソフト/Photoshopでの基本操作 | 2・ 通 年 | 60 | 2 | | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | | 服飾手芸 (応用) | 服飾手芸全般における装飾技法の基礎知識及 び技術を身に付け、様々な素材の扱い方から テクニック・色・技術の組み合わせによって クリエイティブな力を養うことを目標とす る。 | 2・ 半 期 | 30 | 1 | | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | | ニット イング | ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み 地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作り の知識を習得し、ニットの可能性を広げる。 | 2・ 半 期 | 30 | 1 | | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | | 絵画・ク ロッキー | 観察と創造の共存の中で、短時間～時間をか けて生まれる発想表現を体験する。デザイン イメージを見る側に伝える為の描写能力・表 現能力の幅を広げ深めることを目的とする。 | 2・ 半 期 | 30 | 1 | | | | ○ | ○ | | | ○ |

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|--------|------------------|------------------|---------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 | 校 内 | 校 外 | 専 任 | 兼 任 | |
| | ○ | | CAD基礎 | アパレルCADを利用したパターンメイキングに対する基本的なスキルを身につけることを目標とする。平面作図に始まり、スキャナ入力、有り型展開、工業用パターンメイキング、マーキング等を履修する。CAD基礎レベルの履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。 服飾専攻科 技術専攻、デザイン専攻、オートクチュール専攻への進学予定者は受講不可とする。 | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 英会話 I | 基礎的な文法知識を持っている学生対象の会話のコース。日常生活に加え、ファッションに関連する事例からトピックを選び、関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、聞き取り、英作文などを組み込んだ構成とする。 | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 販売実務 | ・販売員の重要性、必要性を理解する ・接客販売の流れとそのポイントを理解する ・販売としての基本的な立ち居振る舞い、また接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | アクセサリ I | アクセサリーの様々な素材や基本的なパーツや道具の使い方、テクニックを習得することで、個々の目的に合わせたアクセサリーを製作し、発想力を養い独自の制作プロセスを見つけ出すことを目標とする | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 帽子 I | 帽子の一般常識と帽子に対する知識を深め、服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる。トータルイメージを表現する力を養い、作品制作を通して帽子のイメージや服とのバランス感覚などを把握。 | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 染色 | 染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル制作に応用展開できる能力を養う。さらに、染色、加工の視点により認識させることを目標とする。 | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | |

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2021年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|-----|------|------|-----------|---|---------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|-----------------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| | ○ | | ヘア・メイク | ファッションとヘアメイクのトータルコーディネートを意識し、よりファッションを活かすメイク知識と技術を身に付ける。更に自分自身の見せ方、製作した作品の見せ方などさまざまな表現方法を学ぶことを目標とする。 | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | コンテスト画 | コンテストに応募することにより想像力を向上させ、プレゼンテーション能力も向上させる。コンテスト用の作画テクニックを指導し表現能力を高める。 | 2・半期 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 就職対策講座Ⅱ | 就職にそなえ社会人として人間力、コミュニケーション能力を向上させることと、就職対策の実施を行っている講義と実習をすることにより、実践的な力を養うことを目標としている。 | 2・通年 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | コラボレーションb | ・外部団体、企業とのコラボレーション活動に個人又はグループで参加し、知識や技術の向上とともに社会人としてのキャリアアップを図る。 ・学生は自己の可能性を発見し、仕事の進め方やプレゼンテーション方法を学び、人間力、コミュニケーション能力を身につける。 | 2・通年 | 30 | 1 | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | | 校外研修Ⅱ | 1. 日本、その他の歴史的伝統に優れた美術・文化財にふれることにより、感性や美意識を磨く 2. 団体行動により、協調性・社会性・人間性を向上させると共に、クラスメイトとの交流を育む。 | 2・後期 | 30 | 1 | ○ | | △ | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 特別講義Ⅱ | 1. 服飾関連の幅広い分野の専門家による講義を受講し、各自の幅広い知識・技術を広げる。 2. 職業意識や職域を広げ、就職につなげる。 | 2・通年 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 卒業研究・創作 | 卒業制作ショー準備・自由研究 ショー企画・企業研究など | 2・後期 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| 合計 | | | | 20科目 | | | | | | | | | | | 1,140単位時間(38単位) |
| 総合計 | | | | 35科目 | | | | | | | | | | | 2,250単位時間(75単位) |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|--|----------|-------|
| 単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること | 1学年の学期区分 | 前期・後期 |
| | 1学期の授業期間 | 15週 |
| <p>(留意事項)</p> <p>1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。</p> <p>2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。</p> | | |